



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社
コード番号 6698 URL <http://www.visco-tech.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 足立 秀之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部長 (氏名) 滝沢 義信

TEL 03-6402-4500

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,440		396		353		249	
29年3月期第3四半期								

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 273百万円 (%) 29年3月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	391.93	355.86
29年3月期第3四半期		

(注) 1. 当社は平成29年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年3月期第3四半期の実績並びに平成30年3月期第3四半期及び平成29年3月期第3四半期の対前年四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は平成29年12月13日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)市場へ上場したため、平成30年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から当第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,009	1,912	61.8
29年3月期	2,505	1,119	43.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,859百万円 29年3月期 1,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		1.00	1.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の配当予想額は未定であるため、記載しておりません。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,101	7.7	379	7.8	308	14.0	214	5.6	323.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は平成29年12月25日付で払込が完了したオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(29,800株)を考慮して算出しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	743,300 株	29年3月期	628,500 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	株	29年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	635,441 株	29年3月期3Q	株

(注)当社は、平成29年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は概ね好調に推移しましたが、米国の経済・金融政策の動向や東アジアの地政学リスク等により、依然として不透明な状況にあります。

国内経済は、政府の経済対策推進により、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移しましたが、引き続き予断を許さない状況が続いております。

当社グループに関連深い半導体・スマートフォン向けの電子部品・デバイスなど幅広い分野で設備投資が増加傾向にあり、また、米国向けの自動車や自動車部品も増加傾向にあり、当社の製品をはじめとする外観検査装置が使用される機会が増大しました。

このような経営環境のもと、当社グループは顧客満足度の更なる向上のために、当社の画像処理検査装置であるVTV-9000の機能強化を進めた事により、新規顧客の営業展開が進み、売上は堅調に推移しました。

その結果、連結売上高は2,440,815千円、売上総利益は1,314,214千円、営業利益は396,132千円、経常利益は353,736千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は249,047千円となりました。

なお、当社グループは、画像処理検査装置事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,695,597千円となり、前連結会計年度末に比べ492,180千円(22.3%)増加いたしました。これは主に、新規上場に伴う公募増資により現金及び預金が549,552千円増加した一方で、売掛金の期日回収により受取手形及び売掛金が96,522千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は314,011千円となり、前連結会計年度末に比べ11,945千円(4.0%)増加いたしました。これは、主に、市場販売目的のソフトウェアの計上及び社内評価用のデモ機(工具、器具及び備品)を購入したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は686,083千円となり、前連結会計年度末に比べ181,686千円(20.9%)減少いたしました。これは主に、買掛金が51,647千円減少し、また期日返済により短期借入金100,000千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は411,135千円となり、前連結会計年度末に比べ106,786千円(20.6%)減少いたしました。これは主に期限前返済により長期借入金109,316千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計額は1,912,390千円となり、前連結会計年度末に比べ792,598千円(70.8%)増加いたしました。これは主に、新規上場に伴う公募増資等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ259,815千円増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が248,419千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想については、平成29年12月13日に開示いたしました「東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、上記資料に記載した業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

今後、当社業績に影響を与える事象が発生した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,051,397	1,600,950
受取手形及び売掛金	801,469	704,946
製品	80,890	117,016
原材料及び貯蔵品	187,609	221,509
繰延税金資産	38,333	25,609
その他	43,716	25,564
流動資産合計	2,203,416	2,695,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,401	32,863
減価償却累計額	△16,349	△18,093
建物及び構築物（純額）	16,052	14,770
建設仮勘定	1,000	—
その他	210,163	236,655
減価償却累計額	△141,541	△161,612
その他（純額）	68,622	75,042
有形固定資産合計	85,674	89,813
無形固定資産		
ソフトウェア	162,117	171,788
その他	334	—
無形固定資産合計	162,451	171,788
投資その他の資産	53,939	52,410
固定資産合計	302,066	314,011
資産合計	2,505,483	3,009,608

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	370,511	318,863
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	162,434	80,237
未払法人税等	40,835	56,292
賞与引当金	66,800	27,000
その他	127,188	203,690
流動負債合計	867,769	686,083
固定負債		
長期借入金	504,768	395,452
繰延税金負債	1,157	1,330
資産除去債務	11,996	12,114
その他	—	2,238
固定負債合計	517,921	411,135
負債合計	1,385,691	1,097,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	187,125	446,940
資本剰余金	162,125	421,940
利益剰余金	739,005	987,425
株主資本合計	1,088,255	1,856,305
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,775	2,731
その他の包括利益累計額合計	△2,775	2,731
非支配株主持分	34,311	53,353
純資産合計	1,119,791	1,912,390
負債純資産合計	2,505,483	3,009,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,440,815
売上原価	1,126,601
売上総利益	1,314,214
販売費及び一般管理費	918,081
営業利益	396,132
営業外収益	
受取利息	398
その他	0
営業外収益合計	398
営業外費用	
支払利息	16,913
為替差損	278
株式交付費	6,580
株式公開費用	16,138
その他	2,881
営業外費用合計	42,794
経常利益	353,736
特別損失	
固定資産除却損	106
特別損失合計	106
税金等調整前四半期純利益	353,630
法人税、住民税及び事業税	74,697
法人税等調整額	12,897
法人税等合計	87,594
四半期純利益	266,035
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,987
親会社株主に帰属する四半期純利益	249,047

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	266,035
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	7,560
その他の包括利益合計	7,560
四半期包括利益	273,596
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	254,554
非支配株主に係る四半期包括利益	19,042

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年12月13日に東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード) 市場に上場いたしました。上場にあたり、平成29年12月12日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式85,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ192,372千円増加しています。また、平成29年12月25日を払込期日とする第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当)による新株式29,800株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ67,443千円増加しています。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における資本金は446,940千円、資本剰余金421,940千円となっております。